

**【受験生特集】— さまざまなキャンパスライフを紹介します**
**新たな可能性に挑戦 — キャリアデザインセンター**

「キャリアデザイン」とは、個性や資質を生かし、自分がどうありたいか、どのように人生を過ごしたいか、主体的に選択・行動・実現していくこと。大学生にとって、キャンパスライフのすべてが、キャリアデザインを形成させる「タネ」となるといっても過言ではない。

**キャリアデザインセンター**(池本正純センター長)では、インターンシップの実施やコンテスト開催、キャリア関連科目、キャリアカウンセリングなどを通じて、学生の自主性を促し、人生設計をサポートしている。このページでは、キャリアデザインセンターの取り組みを紹介しよう。

**【ベンチャービジネスコンテスト】**
**経営者からの評価が自信に**
**鳳賞は関口さん(経営3)**

2007年度「専大ベンチャービジネスコンテスト」は31件の応募の中から書類審査を通過した11作品が第2次審査のプレゼンテーション大会(11月4日、生田キャンパスで開催)に進み、鳳賞(最優秀賞)、優秀賞などが別表のとおり決まった。

「食から見直すペットの健康」で、鳳賞と育友会長特別賞に輝いた関口愉香さん(経営3)に話を聞いた。

飼っているネコのために思いついたプランは、専門家の「処方箋(しよほうせん)」により、ペットの体調に合わせて不足しがちな栄養素などを加えたペットフードをインターネットで販売するというもの。ゼミの発表でもよく使うパワーポイントは、ペット愛好家数、ペットフードの消費量などの詳細なマーケティングデータを中心に文字をできるだけ少なくし、「視覚に訴える」ものを作った。

「『あったらいいな』というのが発想の原点。アイデアを発表する機会を与えていただき、さらに審査員の経営者の方々に『認めてもらった』ことは、自信につながっています」とコンテストを振り返る。

ゼミで、課題解決型インターンシップに取り組みながらの今回のチャレンジ。2年次のときにキャリアデザインセンター主催のベンチャーワークショップで出会った女性起業家の川崎貴子・ジョヤンテ社長の魅力にひかれ、「あこがれの人」と目標にしている。経営学特殊講義では、南部靖之・パナソニック代表取締役グループ代表のオーラに圧倒された。また、入学センターの学生スタッフとしてオープンキャンパスで活動するなど、3年間で多くの出会いを経験してきた。

「授業や課外講座で、いろいろな方のお話を聞くことが刺激になります。『やりたいことがある人』にチャンスを広げ、手厚い支援をしてくれるのが、専大の魅力」と話している。

<専大ベンチャービジネスコンテスト> 受賞者



▲関口さん



▲優秀賞の樋口さん



▲経営者の前でプレゼンテーション

賞	氏名 (学部学年)	作品名
鳳賞	関口 愉香	食から見直すペットの健康

育友会長特別賞	(経営3)	
優秀賞 あずさ監査法人特別賞	樋口 有加 (経営3)	化粧品×カフェの融合による、新業態「コスメカフェ」
優秀賞 KSP特別賞	後藤 貴行 (ネット情報3)	みんなで小さな一歩を ～エコバッグを利用した広告～
優秀賞 セブンスピーズホールディングス(株)特別賞	林 沙央梨 (経営2)	BL喫茶 ～より2次元に近い3次元の実現☆～
優秀賞 (株)ネクスト特別賞	後藤 貴行(代表) (小林・飯田プロジェクト)	歩くことを楽しませてくれる新ケータイ「R^co！」

## 【学びの知識を社会に生かす 課題解決(地域密着)型インターンシップ】

2006年度から始まった川崎市との連携により地域の課題を解決するインターンシップに7ゼミと、個人20人が参加。12月20日に成果報告会が生田キャンパスで開かれた。参加者は「周囲と積極的にかかわることで『仕事の面白さ』を知ることができた」「『働く』ことを真剣に考えたい人にはお勧めのプログラム」「地元・川崎の活性化に専大生のチカラを生かすことで、地域と大学とのかかわりが密接になる」との感想を述べた。



▲川崎に男女共同参画センター(すくらむ21)で「働く面白さ」を体験した3人は2月3日に自主企画イベント「しゃべりば21」を開催

## 学生アイデアが“形”に 商品開発に寄与

川崎市麻生区の納豆メーカー「カジノヤ」から出されたテーマ「伸び悩んでいる既存商品をどう立て直すか」に取り組んだ池本正純ゼミ(経営)と石川和男ゼミ(商)のアイデアを取り入れたリニューアル商品が12月から店頭で並んでいる。池本ゼミは「女性へのアプローチを意識した視点」を、石川ゼミは「『カジノヤブランド』を前面に出したパッケージデザイン」をそれぞれ提案し、採用となった。学生たちは自分たちのアイデアが形となった商品を手に「うれしいです」と喜びをみせ、5月からの取り組みが実を結んだことで大きな自信を得たようだ。



▲商品を手に喜ぶ石川ゼミの学生

また、2006年冬に販売され大きな話題を呼んだ「専修大学共同開発 冬味納豆」(池本・高柳美香ゼミ)も好評につき、期間限定で再販売されている。

## 【ファンドマネジャー専大グランプリ】

### 今井秀さん(ネット情報3) 個人戦連覇

野村證券の株式投資ゲーム「バーチャル株式投資倶楽部」に参加し、実際の株価を用いた投資ゲームにチャレンジすることで、情報を収集する習慣を身につけ、それをどう活用すべきかを学ぶ「ファンドマネジャー専大グランプリ」。07年度は、109人(学生101人、育友会員4人、教員4人)が参加した。



▲団体戦優勝のメンバーと池本センター長

「投資パフォーマンス部門」個人戦では、今井秀(みのる)さん(ネット情報3)が連覇し、団体戦は、石鎚英也ネットワーク情報学部教授と3年次チーム『KRP—2』(榮勇志郎さん、木村泰裕さん、小澤紀良さん、今井秀さん)が優勝した。この実績で、ネットワーク情報学部長表彰を受けた今井さんは、「毎日ニュースを見て経済全体の流れをつ

かむことと、小まめに売買することが、高いパフォーマンスを生んだ秘訣(ひけつ)です」と話している。

また、期間中の株価を分析する「分析レポート部門」では、藤井順子さん(商3)が最優秀賞に輝いた(主な入賞者は次のとおり=敬称略)

▼投資パフォーマンス部門(個人戦)

優秀賞=佐藤壮平(経済3)、名倉雄平(商1)、漆原真澄(経営3)、鷲山健人(ネット情報3)。

▼分析レポート部門

準最優秀賞=代表・横山祐介(商2=団体執筆作品)、田邊航介(商3)